

北九州工業高等専門学校	生産デザイン工学科（物質化学コース）	開講年度	令和06年度（2024年度）
学科到達目標			
準学士課程の教育目標 (A)技術内容を理解できる基礎学力(数学、自然科学、情報)と自己学習能力を持つ技術者 ①数学・物理・化学などの自然科学、情報技術に関する基礎を理解できる。 ②自主的・継続的な学習を通じて、基礎科目に関する問題を解くことができる。 (B)専門分野における基礎知識を身に付けた技術者 ①専門分野における工学の基礎を理解できる。 ②自主的・継続的な学習を通じて、専門工学の基礎科目に関する問題を解くことができる。 (C)専門工学基礎知識の上に実践的技術を学んだ技術者 ①実験や実習を通じて、問題解決の実践的な経験を積む。 ②機器類（装置・計測器・コンピュータなど）を用いて、データを収集し、処理できる。 ③実験結果から適切な図や表を作り、専門工学基礎知識をもとにその内容を考察することができる。 ④実験や実習について、方法・結果・考察をまとめ、報告できる。 (D)身に付けた工学知識・技術をもとにして問題を解決する能力を有する技術者 ①専門工学の基礎に関する知識と基礎技術を統合し、活用できる。 ②工学知識や技術を用いて、課題解決のための調査や実験を計画し、遂行できる。 ③工学知識や技術を用いて、課題解決のための結果の整理・分析・考察・報告ができる。 (E)多様な文化を理解するための教養を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーションの基礎能力を有する技術者 ①歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。 ②日本語で論理的に記述し、報告・討論できる。 ③英語によるコミュニケーションの基礎能力（読解・記述・会話）を身に付ける。 (F)歴史・文化・社会に関する教養を持ち、技術の社会・環境との関わりを考えることのできる技術者 ①歴史・文化・社会に関する基礎的な知識を身に付ける。 ②工業技術と社会・環境との関わりを考えることができる。 ③技術者としての役割と責任を認識できる。 (G)社会の一員としての自覚、倫理観を持ち、心豊かな人間性を有する技術者 ①健やかな心身を持ち、社会性、協調性を身に付ける。 ②社会人として、技術者として必要な素養、一般常識や礼儀、マナーについて考えることができる。			
「生産デザイン工学」教育プログラムの学習・教育到達目標 (A)技術内容の高度化に対応できる基礎学力(数学、自然科学、情報)と自己学習能力を持つ技術者 ①数学・物理・化学などの自然科学、情報技術に関する共通基礎を理解できる。 ②自主的・継続的な学習を通じて、共通基礎科目に関する問題を解決できる。 (B)専攻分野の「生産」に関わる専門知識を身に付けた技術者 ①共通基礎知識を用いて、専攻分野における設計・製作・評価・改良など生産に関わる専門工学の基礎を理解できる。 ②自主的・継続的な学習を通じて、専門工学の基礎科目に関する問題を解決できる。 (C)専門工学知識の上に「生産」に関わる実践的技術を身に付けた技術者 ①専門工学の実践に必要な知識を深め、実験や実習を通じて、問題解決の経験を積む。 ②機器類（装置・計測器・コンピュータなど）を用いて、データを収集し、処理できる。 ③実験結果から適切な図や表を作り、専門工学基礎知識をもとに分析し、結論を導き出せる。 ④実験や実習について、方法・結果・考察を的確にまとめ、報告できる。 (D)幅広い視野から問題を捉え、複数分野の工学知識・技術を有機的に結び付け、総合的に問題を解決する素養（デザイン能力）を有する技術者 ①専攻分野における専門工学の基礎に関する知識と基礎技術を総合し、応用できる。 ②専攻分野の専門性に加え、他分野の知識も学習し、幅広い視野から問題点を把握できる。 ③要求された課題に対して、幅広い視野で問題点を把握し、その解決法を提案できる。 ④工学知識や技術を統合し、課題解決のための調査や実験を自発的に計画し、遂行できる。 ⑤工学知識や技術を統合し、課題解決のための結果の整理・分析・考察・報告ができる。 (E)多様な文化を理解する能力を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を有する技術者 ①歴史・文化・日本文学（国語）・外国語を学び、多様な文化を理解できる。 ②実験・実習・調査・研究内容について、日本語で論理的に記述し、報告・討論できる。 ③専攻分野の技術英文を含め、英文を読解し、日本語での内容説明ができる。 ④調査・研究の目的と内容を理解した上で、その概要を英語で記述できる。 ⑤英語による基本的な会話ができる。 (F)歴史・文化・社会に関する教養と頑健な心身を持ち、技術の社会・環境との関わりを考えることのできる技術者 ①歴史・文化・社会に関する知識を持ち、それらを示すことができる。 ②工業技術と社会・環境との関わりを理解し、社会・環境への効果と影響を説明できる。 ③技術者としての役割と責任（倫理観）を認識し、説明できる。 (G)多様性のあるチームの中で、成果を上げるために行動できる技術者 ①メンバーとして、自己のなすべき行動を判断し実行できる。 ②リーダーとして、他社の取るべき行動を判断し、適切に行動させるように働きかけることができる。			

学科	開講年次	共通・学科	専門・一般	科目名	単位数	実務経験のある教員名
生産デザイン工学科（物質化学コース）	本4年	学科	専門	化学工学Ⅰ	2	前田良輔
生産デザイン工学科（物質化学コース）	本5年	学科	専門	生物反応工学	1	前田良輔
生産デザイン工学科（物質化学コース）	本4年	学科	専門	学外実習	1	企業担当者
生産デザイン工学科（物質化学コース）	本4年	学科	専門	長期学外実習	3	企業担当者

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q
一般	必修	国語 A I	0001	履修単位	1	2																新任, 木本拓哉					
一般	必修	国語 A II	0002	履修単位	1	2																新任, 木本拓哉					
一般	必修	地理 I	0003	履修単位	1	2																川浪 朋恵, 白神 宏					
一般	必修	地理 II	0004	履修単位	1	2																川浪 朋恵					
一般	必修	基礎数学 A I	0005	履修単位	2	4																大塚 隆史, 藪奥 哲史					
一般	必修	基礎数学 A II	0006	履修単位	2	4																大塚 隆史, 藪奥 哲史					
一般	必修	基礎数学 B I	0007	履修単位	1	2																大塚 隆史, 藪奥 哲史					
一般	必修	基礎数学 B II	0008	履修単位	1	2																大塚 隆史, 藪奥 哲史					
一般	必修	物理 A I	0009	履修単位	1	2																坪田 雅功, 伊藤 慎太郎					
一般	必修	物理 A II	0010	履修単位	1	2																油谷 英明, 伊藤 慎太郎					
一般	必修	化学 A I	0011	履修単位	1	2																牧野 伸一					
一般	必修	化学 A II	0012	履修単位	1	2																坪田 雅功, 山本 和弥					
一般	必修	総合科学 I	0013	履修単位	1	2																宮内 真人, 油谷 英明, 伊藤 慎太郎					
一般	必修	総合科学 II	0014	履修単位	1	2																牧野 伸一					
一般	必修	保健	0015	履修単位	1	2																八嶋 文雄					
一般	必修	体育 A I	0016	履修単位	1	2																濱田 臣二					
一般	必修	体育 A II	0017	履修単位	1	2																濱田 臣二					
一般	必修	音楽	0018	履修単位	1	2																馬渡 英子					
一般	必修	英語 A I	0019	履修単位	2	4																久保川 晴美, 渡辺 真一					
一般	必修	英語 A II	0020	履修単位	2	4																久保川 晴美, 渡辺 真一					

[illegible]

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語 A I	
科目基礎情報							
科目番号	0019		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	生産デザイン工学科 (物質化学コース)		対象学年		1		
開設期	前期		週時間数		4		
教科書/教材	My Way English Communication I 及び 準拠ワークブック (スタンダード) (三省堂) / はじめてのTOEIC Bridge L&Rテスト 完全模試3回分 (夏休み課題) (アスク出版) / Listening Platform I (いいずな書店)						
担当教員	久保川 晴美,渡辺 真一						
到達目標							
1.中学既習レベルの英単語を理解できる。 2.文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使って内容理解ができる。 3.理解を終えた英文を、聞き手にわかりやすく音読できる。 4.TOEIC Bridgeで65点相当の点数を取ることができる。 5.英検準2級に合格できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句を、主な派生語も含めて理解し、正確に綴れる。		中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句を、主な派生語も含めて理解している。		中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句に、理解できないものが多く残っている。		
評価項目2	文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使って内容理解ができる。		文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使ってほぼ内容理解ができる。		文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使っても内容理解ができない。		
評価項目3	教科書で学習した文法事項や構文を適切な文脈において理解し、自ら運用、音読できる。		教科書で学習した文法事項や構文を文脈の中で理解、音読できる。		教科書で学習した文法事項や構文に理解できないものが多く残っている。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本授業では、中学既習レベルの英語力を安定させ、「読み」「書き」「話し」「聞く」の4技能を総合的に向上させることを目的とする。各課の単語習得(意味・発音・アクセント)・熟語習得・文法事項理解・内容理解を通じて、語彙を増やし英語の音声に親しみ、高校レベルの英語学習へのしっかりした下地を作る。						
授業の進め方・方法	各課の予習(単語調べ、本文全体の通読など)は必須とする。 適宜、小テストや各課の復習テストなどを課す。						
注意点	辞書を必ず持参すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、中学校までの既出事項の確認		予習復習の仕方、授業の進め方、テストの説明などを理解する。基本語彙・基本文法事項の習得具合の確認、辞書指導、発音指導など		
		2週	Lesson 1 (1), Lesson 2 (1)		現在形・過去形/進行形/ SVO(O=that節) 助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身		
		3週	Lesson 1 (2), Lesson 2 (2)		現在形・過去形/進行形/ SVO(O=that節) 助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身		
		4週	Lesson 1 (3), Lesson 2 (3)		現在形・過去形/進行形/ SVO(O=that節) 助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身		
		5週	Lesson 1 (4), Lesson 2 (4)		現在形・過去形/進行形/ SVO(O=that節) 助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身		
		6週	Lesson 3 (1), Lesson 4 (1)		動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形		
		7週	Lesson 3 (2), Lesson 4 (2)		動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形		
		8週	中間試験		1〜7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		
	2ndQ	9週	Lesson 3 (3), Lesson 4 (3)		動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形		
		10週	Lesson 3 (4), Lesson 4 (4)		動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形		
		11週	Lesson 3 (5), Lesson 4 (5)		動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形		
		12週	Lesson 5 (1), Lesson 6 (1)		関係代名詞(主格) / 関係代名詞(目的格) / 関係代名詞 what / It is ... to不定詞 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 / It is ... that		

		13週	Lesson 5 (2), Lesson 6 (2)	関係代名詞(主格) / 関係代名詞(目的格) / 関係代名詞 what / It is ... to不定詞 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 / It is ... that
		14週	Lesson 5 (3), Lesson 6 (3)	関係代名詞(主格) / 関係代名詞(目的格) / 関係代名詞 what / It is ... to不定詞 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 / It is ... that
		15週	9～14週までの内容のまとめ	9～14週までの内容を確認・復習する。
		16週	定期試験	9～14週までの内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文社会科学	英語	英語	聞き手に正しく伝わるよう、語・句・文における強勢、文におけるリズム・イントネーション、音のつながり・区切りを意識しながら明瞭に音読あるいは発話できる。	1	
				中学校までに学習した語彙の定着を図り、高等学校指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な語彙を習得して適切に運用できる。	1	
				中学校までに学習した文構造及び文法事項に加え、高等学校学習指導要領に準じた文構造及び文法事項について習得して適切に運用できる。	1	
				日常的な話題や社会的な話題について、はっきりとした発音で、調整された速さで話された内容から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握できる。	2	
				日常的な話題や社会的な話題について、基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを話すことができる。	2	
				日常的な話題や社会的な話題について平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握して必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握できる。	2	
				日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見や感想を整理し、情報や考え、気持ちなどを伝える文章を書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢を持ち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト）を適切に用いることができる。	2	
				自分の専門分野などの予備知識のある事柄や関心のあるトピックについて、話の展開や話者の意図に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握できる。	2	
				英語でのディスカッション（必要に応じてディベート）を想定して、意見や主張、課題の解決策などをやり取りできる。	2	
				英語でディスカッション（必要に応じてディベート）を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、意見や主張を適切な理由や根拠とともに伝える複数の段落を書くことができる。	2	
				自分の専門分野に関する口頭発表などを念頭に置き、関心のあるトピックについて、平易な英語でのプレゼンテーションや内容に関する簡単な質疑応答のやりとりができる。	2	

評価割合

	試験	小テスト等	演習・レポート	合計
総合評価割合	60	15	25	100
基礎的能力	60	15	25	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語 A II	
科目基礎情報							
科目番号		0020		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		生産デザイン工学科 (物質化学コース)		対象学年	1		
開設期		後期		週時間数	4		
教科書/教材		My Way English Communication I 及び 準拠ワークブック (スタンダード) (三省堂) / Listening Platform I (いいずな書店)					
担当教員		久保川 晴美,渡辺 真一					
到達目標							
1. 中学既習レベルの英単語を理解できる。 2. 文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使って内容理解ができる。 3. 理解を終えた英文を、聞き手にわかりやすく音読できる。 4. TOEIC Bridgeで65点相当の点数を取ることができる。 5. 英検準2級に合格できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句を、主な派生語も含めて理解し、正確に綴れる。		中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句を、主な派生語も含めて理解している。		中学校既習レベルの英単語、教科書や単語集で学習した重要語句に、理解できないものが多く残っている。	
評価項目2		文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使って内容理解ができる。		文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使ってほぼ内容理解ができる。		文科省検定教科書高校1年レベルの英文について、辞書を使っても内容理解ができない。	
評価項目3		教科書で学習した文法事項や構文を適切な文脈において理解し、自ら運用、音読できる。		教科書で学習した文法事項や構文を文脈の中で理解、音読できる。		教科書で学習した文法事項や構文に理解できないものが多く残っている。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		本授業では、中学既習レベルの英語力を安定させ、「読み」「書き」「話し」「聞く」の4技能を総合的に向上させることを目的とする。各課の単語習得(意味・発音・アクセント)・熟語習得・文法事項理解・内容理解を通じて、語彙を増やし英語の音声に親しみ、高校レベルの英語学習へのしっかりした下地を作る。					
授業の進め方・方法		各課の予習(単語調べ、本文全体の通読など)は必須とする。 適宜、小テストや各課の復習テストなどを課す。					
注意点		辞書を必ず持参すること。 TOEIC Bridgeの成績は評価に加味する。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Lesson 5 (4), Lesson 6 (4)		関係代名詞(主格) / 関係代名詞(目的格) / 関係代名詞 what / It is ... to不定詞 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 / It is ... that		
		2週	Lesson 5 (5), Lesson 6 (5)		関係代名詞(主格) / 関係代名詞(目的格) / 関係代名詞 what / It is ... to不定詞 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 / It is ... that		
		3週	Lesson 7 (1), Lesson 8 (1)		関係副詞where / 関係副詞when / 関係副詞why / 比較級・最上級 条件を表すif節 / 仮定法過去 / I wish ~ / as if ~		
		4週	Lesson 7 (2), Lesson 8 (2)		関係副詞where / 関係副詞when / 関係副詞why / 比較級・最上級 条件を表すif節 / 仮定法過去 / I wish ~ / as if ~		
		5週	Lesson 7 (3), Lesson 8 (3)		関係副詞where / 関係副詞when / 関係副詞why / 比較級・最上級 条件を表すif節 / 仮定法過去 / I wish ~ / as if ~		
		6週	Lesson 7 (4), Lesson 8 (4)		関係副詞where / 関係副詞when / 関係副詞why / 比較級・最上級 条件を表すif節 / 仮定法過去 / I wish ~ / as if ~		
		7週	Lesson 7 (5), Lesson 8 (5)		関係副詞where / 関係副詞when / 関係副詞why / 比較級・最上級 条件を表すif節 / 仮定法過去 / I wish ~ / as if ~		
		8週	中間試験		1〜7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		
	4thQ	9週	Lesson 9 (1), Lesson 10 (1)		SV0102(O2=how to~) / SVO + to不定詞 / SVOC(C=動詞の原形) / SVOC(C=現在分詞)		
		10週	Lesson 9 (2), Lesson 10 (2)		SV0102(O2=how to~) / SVO + to不定詞 / SVOC(C=動詞の原形) / SVOC(C=現在分詞)		
		11週	Lesson 9 (3), Lesson 10 (3)		SV0102(O2=how to~) / SVO + to不定詞 / SVOC(C=動詞の原形) / SVOC(C=現在分詞)		
		12週	Lesson 9 (4), Lesson 10 (4)		SV0102(O2=how to~) / SVO + to不定詞 / SVOC(C=動詞の原形) / SVOC(C=現在分詞)		

		13週	Lesson 9 (5), Lesson 10 (5)	SVO102(O2=how to～) / SVO+to不定詞/ SVOC(C=動詞の原形) / SVOC(C=現在分詞)
		14週	Reading	物語の読解・鑑賞
		15週	9～14週までの内容のまとめを行う。	既出の文法項目について復習する。
		16週	定期試験	9～14週までの内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文社会科学	英語	英語	聞き手に正しく伝わるよう、語・句・文における強勢、文におけるリズム・イントネーション、音のつながり・区切りを意識しながら明瞭に音読あるいは発話できる。	1	
				中学校までに学習した語彙の定着を図り、高等学校指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な語彙を習得して適切に運用できる。	1	
				中学校までに学習した文構造及び文法事項に加え、高等学校学習指導要領に準じた文構造及び文法事項について習得して適切に運用できる。	1	
				日常的な話題や社会的な話題について、はっきりとした発音で、調整された速さで話された内容から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握できる。	2	
				日常的な話題や社会的な話題について、基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを話すことができる。	2	
				日常的な話題や社会的な話題について平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握して必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握できる。	2	
				日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見や感想を整理し、情報や考え、気持ちなどを伝える文章を書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢を持ち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト）を適切に用いることができる。	2	
				自分の専門分野などの予備知識のある事柄や関心のあるトピックについて、話の展開や話者の意図に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握できる。	2	
				英語でのディスカッション（必要に応じてディベート）を想定して、意見や主張、課題の解決策などをやり取りできる。	2	
				英語でディスカッション（必要に応じてディベート）を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、意見や主張を適切な理由や根拠とともに伝える複数の段落を書くことができる。	2	
				自分の専門分野に関する口頭発表などを念頭に置き、関心のあるトピックについて、平易な英語でのプレゼンテーションや内容に関する簡単な質疑応答のやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	

評価割合

	試験	小テスト・TOEIC Bridge	演習・レポート	合計
総合評価割合	60	15	25	100
基礎的能力	60	15	25	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0